

FUJITSU

2026年1月リリース！

CADEWA Smart

V7

体験セミナー

全国キャラバン開催決定！

参加
無料

2026年2月10日 (火)

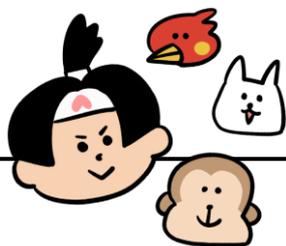
in 岡山

富士通OkayamaHub 4階 F3rdX

岡山県岡山市北区磨屋町10-12 交通オアシスビル

電気 09:30 ~ 12:00

空調衛生 13:30 ~ 16:00



OKAYAMA

■お申し込み方法

システムA・Dにお問い合わせいただくか、
こちらからお申し込みいただけます▶▶▶



※各会場開催日1週間前までにお申し込みください。
※各回10名様まで。定員になり次第締め切らせていただきます。

<お問い合わせ先>

株式会社システムA・D TEL: 089-915-1881

CADEWA Smart V7 は、BIMデータ活用の拡充によるBIMワークフロー強化と
作画効率の向上に寄与する機能アップにより、建築設備業界の課題である、生産性向上・時短に貢献します。

この機会にぜひ
ご体験ください！！

2026年2月18日 (水)

in 徳島

富士通TokushimaHub レセプションR

徳島県徳島市かちどき橋2-29-1 徳島伊予ビル5F

電気 09:30 ~ 12:00

空調衛生 13:30 ~ 16:00

TOKUSHIMA



裏面もご覧ください

CADEWA Smart V7.0 2026.1.19 販売開始

「CADEWA Smart V7.0」は、BIMデータ活用の強化を目的として、メーカー部材およびデータ連携の拡充を行いました。ネグロス電工のケーブルラック部材を搭載し、適合する耐震架台の選定、重量集計、メーカー型番での数量集計が可能となり、施工品質の向上と時間短縮に貢献します。さらに、アルモニコスの大規模点群モデル化システム「ClassNK-PEERLESS」とのIFCデータ連携により、3Dレーザースキャナで取得した点群データが利用でき、改修工事におけるデータ活用が可能となります。また、コメント機能を搭載し、IFCデータとBCFファイルを紐づけることで、異なるBIMツールを利用するチーム間でも問題箇所などを効率的に共有でき、円滑な意思疎通が図れます。作画機能においても、耐震吊材の一括作画、ケーブルラックのサイズ計算、スリーブ作画支援機能としての梁貫通可能領域の一括作画など、お客様の作画効率を向上させる機能を搭載し、生産性向上と時間短縮に貢献します。

■特徴①BIMデータ活用強化

1.部材の強化

ケーブルラックで国内トップクラスのシェアを誇るネグロス電工のケーブルラック部材を146点標準搭載。メーカー情報を用いた耐震架台の選定や材料集計機能により、スムーズな部材発注が可能に。さらに、ネグロス電工のケーブルラックを作画する際には、材質とラック幅を指定するだけで適切なメーカー型番が選定される機能を搭載しており、より正確な情報で作画を進めることができます。また、3次元CADソフト「Autodesk® Revit®」へ中間データを介さずに直接出力したrvtファイル連携した場合、「Revit」上の属性でメーカー情報を確認することも可能です。



図1：オブジェクトカタログの中にあるネグロス電工部材

図2：ケーブルラック作画機能の作画編集パネル

2.データ連携の拡充（点群データ）

改修工事などで活用される点群データを取り込んで図面を作成するニーズが増加していることを受け、アルモニコスの「ClassNKPEERLESS」から出力されたIFCデータを読み込み、CADEWAの部材に変換する機能を搭載。取り込んだ点群データがCADEWAの部材に変換されることで、CADEWAの機能を用いて図面の編集が可能です。



図3：CADEWAで変換された点群データ

3.コメントの連携機能

BCFファイルの連携機能を実装し、コメント、キャプチャ画像、視点の受け渡しが可能に。3Dビューで画像をキャプチャし、その画像に紐づく情報を入力できます。CADEWA同士での受け渡しはもちろん、BCFに対応している他社のソフトウェアにも連携可能。さらに、3Dビュー上で文字列による注釈や寸法も記載できます。これらは3Dの視点を変えた際も自動で見やすい位置に表示され、視覚的に分かりやすい情報伝達をサポートします。

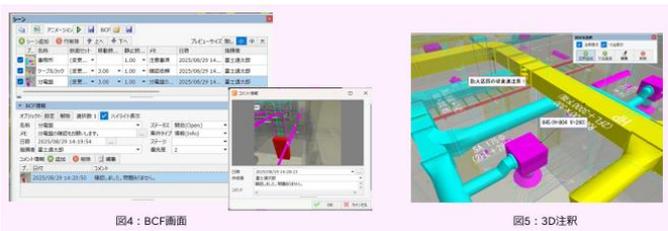


図4：BCF画面

図5：3D注釈

■特徴②作画効率化

1.吊材作画の強化

- ・電気ルートの単独吊を共吊に変更する機能を搭載します。
- ・ネグロス電工の組立アングル架台選定機能を搭載します。

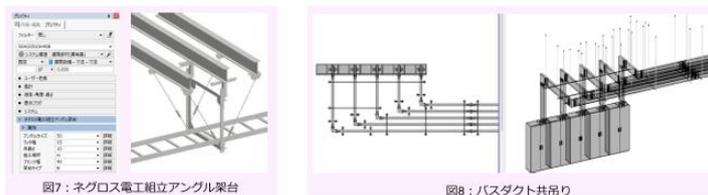


図7：ネグロス電工組立アングル架台

図8：バスダクト共吊り

2.ケーブルラックの幅計算機能

配線から適切なケーブルラックの幅を計算し、計算結果の幅でケーブルラックを作画できる機能を追加します。これにより、選定に要する手間を省力化し、選定ミスによる手戻りを防止します。

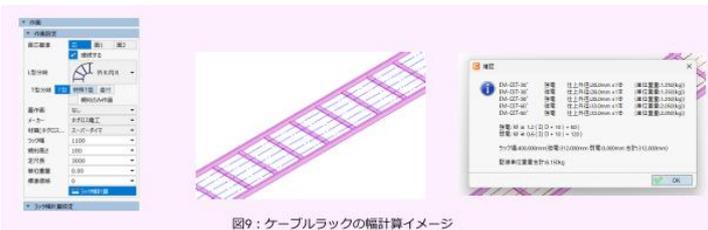


図9：ケーブルラックの幅計算イメージ

3.梁貫通可能領域の可視化

梁貫通可能領域の可視化機能を搭載します。これにより、ルート作画時に梁の貫通可能領域を確認しながら作画できます。

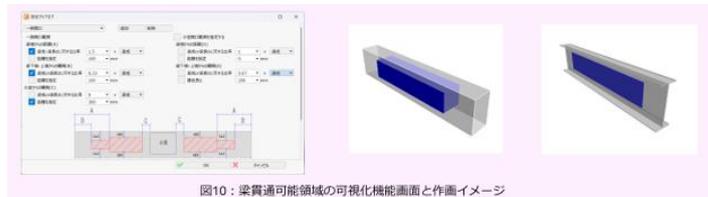


図10：梁貫通可能領域の可視化機能画面と作画イメージ

4.立管指示の右クリックメニューからの簡単作画

排水水通気立管指示の右クリックメニューから、これまでの床上掃除口の作画に加え、排水金物や屋内処理形通気弁（ドルゴ通気弁）も作画できるよう対応します。

5.コンテキストメニューの整理

コンテキストメニューに、使用頻度の高い「オブジェクトカタログ」と「選択削除」を追加します。関連コマンドについては、「配管継手・バルブ類」「ダクト継手・ダンパ類」などのグループを設け、目的のコマンドを見つけやすくします。

新しいCADEWA、体験できます！

▼お問い合わせはこちらまで



株式会社システムA・D

〒790-0067 愛媛県松山市大手町2丁目5-9 2F TEL：089-915-1881 FAX：089-915--1882

